

## 福井県 J Aバンクにおける地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

福井県 J Aバンク（福井県下 J Aと福井県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度福井県 J Aバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

福井県 J Aバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

福井県 J Aバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点の福井県 J Aバンクの農業関係資金<sup>(注1)</sup>残高は 9,469 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は 1,831 百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 福井県 J Aバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 27 年 3 月末現在
農業	4,965
穀作	2,596
野菜・園芸	308
果樹・樹園農業	10
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	178
養鶏・鶏卵	49
養蚕	0
その他農業 <sup>(注3)</sup>	1,821
農業関連団体等 <sup>(注4)</sup>	4,503
合計	9,469

(注)

- 3 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 4 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末現在
プロパー農業資金 (注5)	8,035
農業制度資金 (注6)	1,434
農業近代化資金 (注7)	1,111
その他制度資金	322
合 計	9,469

(注)

- 5 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 6 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を福井県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで福井県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- 7 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (注8)	1,831
そ の 他	0
合 計	1,831

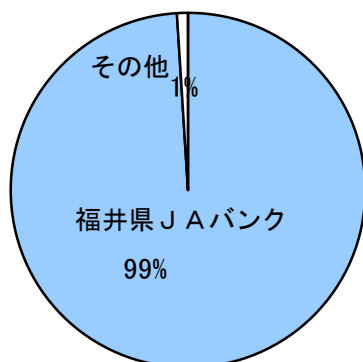
(注)

- 8 福井県JAバンクでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

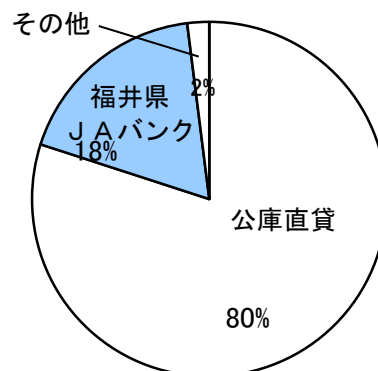
福井県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【福井県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

近代化資金取扱いシェア  
(平成26年12月末時点)  
出所：当会調べ



公庫農業資金取扱いシェア  
(平成27年3月末時点)  
出所：当会調べ



## (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

福井県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成26年度末時点で12JAおよび信連にあわせて15名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成26年度末時点で6JAおよび信連であわせて22名となりました。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的としています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例
J A 福 井 市：T A C 営農指導員会議において、新規就農応援事業を説明。
J A 福井市南部：担い手への営農指導員との同行訪問。
J A はる え：営農経済部門と連携し訪問活動を実施し、情報を共有。
J A テラル越前：T A C との同行訪問。
J A たんなん：月2回のT A C ミーティングの開催。
J A 池 田：リスク定例会による各課の情報共有。
J A 敦賀美方：営農・経済事業職員に対する、農業資金の情報を提供。
J A 若 狭：T A C 会議にて、T A C の活動及び農業者の意見等を収集し、各支店の渉外担当者へ連絡。農業関連資金・貯金商品の商品説明を実施。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

福井県JAバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

福井県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

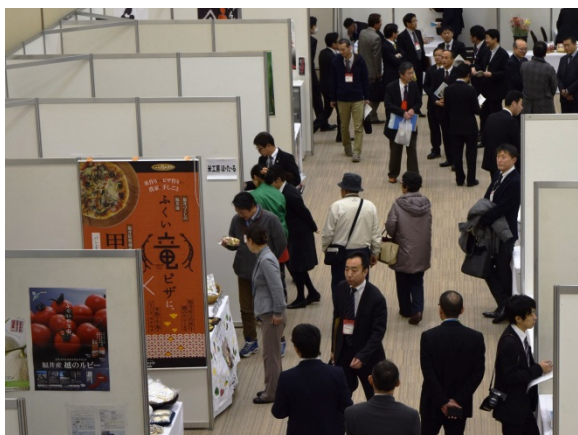
	平成26年度 実行件数	平成26年度 実行金額	平成27年3月末 残高
青年等就農資金	0	0	0
就農支援資金	0	0	11
JA新規就農応援資金	0	0	0
合計	0	0	11

## (2) 農商工連携の推進

福井県JAバンクは、JAバンク富山、JAバンク石川、北陸3県全農系統およびJFマリンバンクと連携し、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

### 【平成26年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	内容
JA・JFグループ 北陸商談会	平成27年 1月21日	北陸3県JAバンク 北陸3県全農系統 JFマリンバンク	44団体	JA、JF、北陸3県の農林水産業関係者による、販路拡大を目的とした商談会。 あわせて販売力強化セミナー、商品企画力向上セミナーを実施。



<北陸商談会会場>



<商品企画力セミナー>

## (3) 被災者等への支援

福井県JAバンクでは、天候不順による米価下落と収量低下による農業収入の減少に困窮する農業者の経営維持を支援するため、農業資金緊急助成措置を制定し、担い手に対する支援に取り組んでいます。

単位 件、百万円

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
農業資金緊急助成措置	福井県 JAバンク	県下JA統一資金（農業緊急災害対策資金）および下記のJA独自資金を対象とし、該当JAに対し本会より助成金を交付する。	48	87.45
農機具等購入の際の支援資金創設	JA越前丹生	農機具等の導入に必要となる資金を低利で融資し、支援することで、生産力の向上、経営の安定化を図る。	6	14.1
組合員農家の経営に関する資金の低利での融通対応	JA若狭	米の減収により影響が発生した組合員に対し、無利子資金を融通する。	26	39.3

#### (4) 経営不振農家の経営改善支援

福井県 J Aバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

#### 【平成 26 年度 農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
		a	b	c		
正常先①	12	0		12	0.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	3	0	3	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	1	0	1	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	6	2	0	4	33.3%	0.0%
実質破綻先⑤	7	3	0	6	42.9%	0.0%
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	小計 (②～⑥の計)	17	5	14	29.4%	0.0%
	合計	29	5	26	17.2%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 26 年 3 月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

福井県 J Aバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### 6 次産業化の支援

福井県 J Aバンクでは、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる 6 次産業化促進支援を行なっています。

平成 26 年度は、J Aグループで平成 25 年 5 月に設立・展開している「J A・6 次化ファンド（正式名称：農林水産業協同組合ファンド）」を活用し、J A・6 次化ファンドの出資第 2 号案件を組成支援しています。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

福井県 J Aバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

#### 食・農への理解促進

福井県 J Aバンクは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、平成 26 年度には県下の小学校 200 校へ約 9, 100 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A福井市	学校教育田	田植え・稲刈り体験
	そば栽培	そばの種まき・収穫・そば打ち・試食
J A福井市南部	なかよし田んぼ	地元小学生と田植え・刈取りを体験
J A吉田郡	れんげ米提供	学校米飯給食へのれんげ米を提供
J Aはるえ	学童農園	水稻等の栽培体験
	学校の畑作付け	営農に関する指導・説明・手伝い
	めぐりキッズ・クラブ	親子による野菜定植・管理・収穫体験
J Aテラル越前	1支店1協同活動	全支店にて特産物の販売やPR活動実施
J Aたんなん	ちやぐりんフェスタ	親子によるサツマイモ苗植え・芋堀り体験
J A越前たけふ	食の寺子屋	地場産農作物の伝承料理講習会の開催
J A敦賀美方	地場産学校給食	地場産野菜を給食用に提供
	梅加工体験教室	中学生を対象とした梅加工の体験
J A若狭	ちびっこ農業寺子屋	小学生を対象とした米作りの体験
	チャレンジ農園	小学生を対象としたアジア・アフリカ支援米作りの体験
J Aバンク 福井県信連	キッズ・アグリマーケット in 大和田げんきまつり	県内小学生を対象とした、県産野菜の収穫・選別・販売の体験



<キッズ・アグリマーケット 収穫>



<キッズ・アグリマーケット 販売>

以上